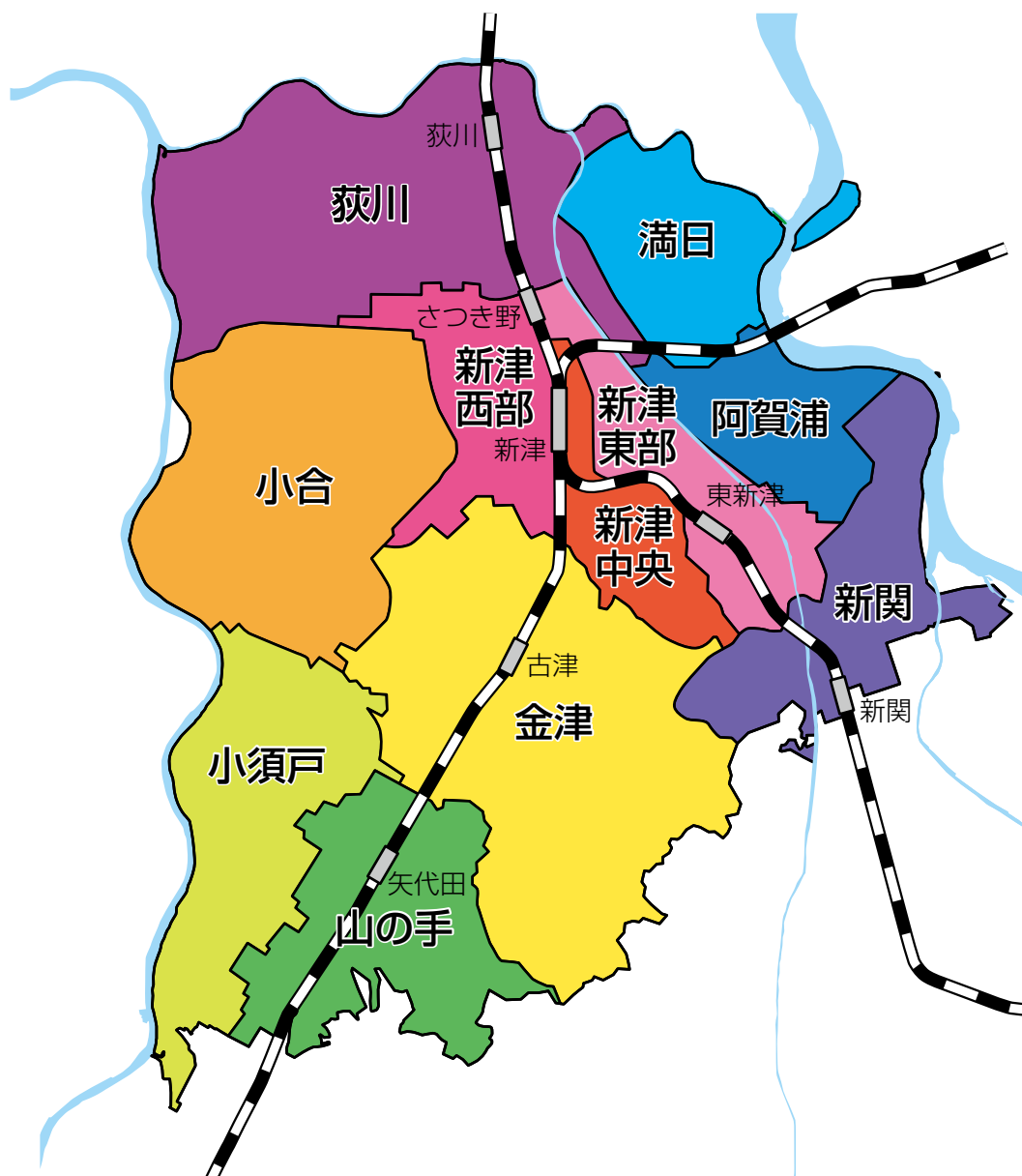


## 第5章 地域福祉活動計画（地区別計画）

地域福祉活動計画は、地域住民を代表とする団体等が社会福祉協議会と地域における様々な福祉活動を進めるための計画であり、秋葉区においても11あるコミュニティ協議会ごとに作成した計画を地区別計画としています。

今期の地区別計画は、令和2年当初に発生した新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、地域コミュニティ協議会、各自治会・町内会、当推進委員会委員等の方々による福祉懇談会を開催し策定したものです。

このため本章に掲載する地区別計画は、作成時点における時点計画となっています。これを補足するため、計画期間内においても継続して地域コミュニティ協議会等と社会福祉協議会が協働で内容を検証し追記や見直し等を実施します。



## 新津中央地区

### ◆地域の特徴

- ♥ 四季折々の花の咲く秋葉山がある地区。
- ♥ 自慢できる大きなお祭りがある。

- ♥ 商店街を取り囲む地域で協力しあえる。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・ 総人口 9,035人（-605人）
- ・ 自治会・町内会数 19
- ・ 65歳以上人口 3,535人（+157人）
- ・ 高齢化率 39.1%（+4.1%）

- ・ 世帯数 4,017世帯（+36世帯）
- ・ 年少人口 837人（-46人）
- ・ 75歳以上人口 2,025人（+139人）
- ・ 地域の茶の間・いきいきサロン 10か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆ 世代を超えて声をかけ合い、  
つながりを大切に育てていこう  
→ 大人も子供も挨拶運動に取り組み、拡充を図る。
- ◆ どの行事においても、より多くの人に参加しやすい工夫をしよう  
→ 周知・告知のしかたなど。

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆ 人にかかわる安全を！  
→ 防災訓練の取り組み方など、情報を共有し、自主防災組織の向上を図る。
- ◆ 環境にかかわる安全を！  
→ 新津川の除草や危険箇所の確認、空き家の把握。

## 健康で安心安全な明るい地域づくり

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆ 心と体の健康づくりを進めよう  
→ ラジオ体操やウォーキングなど、外に出るきっかけをつくり、フレイル予防の強化と参加者の交流を図る。  
→ 自学ひろばやサロンの他にも、安心できる居場所ができないか検討する。

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆ 相談しやすい雰囲気づくりのために  
→ 自治会・町内会役員、民生委員さんからの声掛け。  
→ 効果的な情報を提供するために、人、場所、媒体を考える。

### ■課題の整理

- ・ 自治会・町内会など組織とのつながりの中でニーズを把握し、地域全体の課題を共有する必要がある。

### ■今後の方向性

- ・ 自治会・町内会などとコミ協、それぞれのニーズを把握し一体感を醸成していく。
- ・ 出された課題をもとに現在の活動を検証する必要がある。

## 新津西部地区

### ◆地域の特色

- ♥昔ながらの町内と新しい町内がある地区。
- ♥パワーを持っている人など人材が多くいる。

- ♥公共の建物が集中して、動きやすい地区。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 12,470人（+328人）
- ・自治会・町内会数 14（+1）
- ・65歳以上人口 3,135人（+459人）
- ・高齢化率 25.1%（+3.1%）
- ・子ども食堂 1か所

- ・世帯数 4,934世帯（+429世帯）
- ・年少人口 1,865人（-60人）
- ・75歳以上人口 1,522人（+134人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 7か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

## 1 明るく元気な地域づくり

- ◆地域みんなで子ども達を育て、世代間交流行事を行おう  
→幅広い世代間が企画から関わりを持つ行事を増やす。
- ◆隣近所で支え合い、協力しよう  
→まず隣近所で「あいさつ」を心掛ける。  
→隣組での協同事業を促進する。

## 2 安全で安心な地域づくり

- ◆日頃から顔の見える地域づくりを行おう  
→町内会単位の防災訓練を推進する。  
→見守りやパトロール・防犯ステッカーによる犯罪の無い地域づくりを行う。
- ◆安全教育を通じ安全意識の向上に努めよう  
→子どもや高齢者の交通安全教育を行う。

## 地域みんなが家族、支え合い、助け合い、見守り合う町を築こう！

## 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆趣味・特技で健康長寿の地域を築こう  
→世代間交流のスポーツ・イベントを増やす。  
→地区全体での各種大会を検討実施する。
- ◆高齢者がいきいき暮らせる仕組みを築こう  
→多様化する高齢者サービスの勉強会を行う。  
→健康長寿の為に「お手伝い制度」の検討を行う。
- ◆体を動かす環境整備を行おう  
→公園の除草や清掃、散歩休憩のベンチ設置などの整備を行う。

## 4 相談しやすい体制づくり

- ◆広報（コミ協・町内）の手段を工夫しよう  
→広報誌に相談先を載せる。
- ◆行政・学校・地域の情報交換を強化しよう  
→各機関・団体役員の情報交換会を開催する。  
→相談内容の窓口を共有化する。
- ◆地域の住民が集いやすい施設を設けよう  
→西部地区コミセンの集会所開設を目指す。

### ■課題の整理

- ・少子高齢化と共に町内・自治会等西部地区各団体も後継者の担い手不足。
- ・地域内に多くの大型商店があり利便性は良いが、交通量が増加し事故の懸念がある。
- ・イベントの参加者が少なく固定化している。

### ■今後の方向性

- ・商業施設もあり人口も多く三世同居から独居まで様々。14町内会も50軒～900軒の大小世帯数があり西部地区全体での活動は困難だが、各町内会での活動格差が生じないように、福祉活動全般の推進活動が行えるようにしていく。

## 荻川地区

### ◆地域の特色

- ♥新興住宅街と古くから住んでいる住民との交流、融和がコミ協中心にまとまっている。
- ♥熱意のある人が大勢いるまち。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 18,461人（+462人）
- ・自治会・町内会数 28
- ・65歳以上人口 4,669人（+780人）
- ・高齢化率 25.3%（+3.7%）
- ・子ども食堂 1か所
- ・世帯数 6,988世帯（+637世帯）
- ・年少人口 2,891人（-217人）
- ・75歳以上人口 2,199人（+356人）
- ・サロン・地域の茶の間 8か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

#### ◆隣近所で気に掛け合い・

- 声掛け合って、つながりを深めよう
- あいさつ運動を定着させ、誰もが笑顔であいさつしあう地域文化をつくる。
- 自治会・町内会の隣組で集まる機会を設け、親睦及び活性化を図る。

#### ◆次世代を担うリーダーを発掘し育てよう

- 若い人が参加しやすい事業を計画し、世代間の交流を深める。

### 2 安全で安心な地域づくり

#### ◆災害から身を守る意識と対応力を高めよう

- コミ協と自主防災組織と連携を密にし、役割や備蓄・問題点等検討する。
- 日頃より隣近所でコミュニケーションを図り、お互い助け合う意識を醸成する。

#### ◆みんなで支え合い・助け合う荻川を目指そう

- 「おぎかわあったかネット」の拡充及び生活支援の取り組みを検討する。

・荻川を1つの隣組に ・荻川総ボランティア  
・寝たきりゼロの健康のまちづくり

### 3 健康で豊かな地域づくり

#### ◆子どもの見守りと居場所を拡充しよう

- コミセンの体育館を開放するなど、地域に子どもが出てくる工夫を考える。

#### ◆健康寿命を延ばして元気に暮らそう

- 高齢者の健康づくりの機会と場を設け、介護予防・フレイル予防に取り組む。
- 元気な高齢者から地域の支え手として活躍してもらおう。

### 4 相談しやすい体制づくり

#### ◆相談先が分かり易い周知方法を検討しよう

- 「広報おぎかわ」で相談窓口を紹介する。
- 相談窓口一覧を作成し、自治会・町内会長に配布するほか、必要箇所に備える。

### ■課題の整理

- ・隣近所や地域との関わりが薄れ、地域行事への参加も減少傾向にある。
- ・知識・経験豊かな住民や、元気な高齢者が多く在住しているが、力を引き出せていない。

### ■今後の方向性

- ・コミ協、自治会・町内会、民生委員、老人クラブなど関係組織が連携し、横のつながりを深め、荻川全体の福祉に関し共通認識で捉え、オール荻川で取り組む仕組みを構築していく。

## 満日地区

### ◆地域の特徴

- ♥観光資源となる“はさぎ並木”“満願寺閨門”がある。♥賽の神や獅子舞等、伝統文化が受け継がれている。
- ♥公共のスポーツ施設を活用し、健康づくりが盛んである。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ・総人口 1,336人（-163人） | ・世帯数 524世帯（-34世帯）   |
| ・自治会・町内会数 2        | ・年少人口 108人（-9人）     |
| ・65歳以上人口 526人（+3人） | ・75歳以上人口 270人（-38人） |
| ・高齢化率 39.4%（+4.5%） | ・地域の茶の間・いきいきサロン 5か所 |

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆地域PTAとの連携を深め、協働し、地域全体で子ども達を見守り、育てる
  - 地域のみんが参加できる(世代間交流)行事を企画し、実施する。
  - コミ協でPTAをバックアップする。
- ◆元気な高齢者の力を活かそう
  - 高齢者から、昔の話を聞こう！
  - 高齢者の知恵を活かそう！

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆災害から高齢者を守る
  - 組単位で組織的に。若い人の力も借りる。
  - （災害時の）サポーターの養成。勉強会の開催。
- ◆各町内会単位で実施している環境美化整備活動をコミ協が主導し、満日地区全体で実施する
  - 地域全体での交流、連携の強化。

## こどもからお年寄りまで 笑顔が絶えない 住みよい 満日づくり

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆住民一人ひとりが認知症や障がい者に対する偏見をなくし正しい理解を持つ
  - 地域全体で認知症サポーター養成講座等を開催する。
- ◆“癒しの福祉ゾーン”にある様々な分野の施設に対する理解を深め、交流を持つ
  - 施設を訪問し（ボランティア、見学等）、現状を知る。

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆困ったときに「助けて」と言える地域に！
  - 町内会長、役員に相談できる地域に。
  - 隣組を大切にする。隣組との関係づくり。
- ◆ちょっとした困りごとを地域で解決したい
  - 元気な高齢者の力を借りる。
  - 勉強会を開催し、啓蒙、啓発を繰り返す。
  - 組織的に進めていく。

### ■課題の整理

- ・核家族化や独居世帯の増加、子どもの数の減少等により、隣近所の付き合いが希薄化しており、住民同士の交流の機会が減っている。
- ・認知症や障がいについての理解が進んでいない。

### ■今後の方向性

- ・顔の見える関係をつくり、併せて、全世代が参加したくなるような魅力のある行事等を企画し、世代間の交流事業を実施する。
- ・キット役立つ緊急キットの周知、活用を推進する。

## 新津東部地区

### ◆地域の特色

- ♥新津川が近くにあり、自然環境が良い。
- ♥気軽に声をかけあう地域。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ・総人口 9,649人（-432人）     | ・世帯数 3,977世帯（+144世帯）   |
| ・自治会・町内会数 13           | ・年少人口 951人（-113人）      |
| ・65歳以上人口 3,527人（+289人） | ・75歳以上人口 1,920人（+259人） |
| ・高齢化率 36.6%（+4.5%）     | ・地域の茶の間・いきいきサロン 14か所   |

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数



### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆子どもも大人もつながりをもとう  
～そんな地域づくりを～  
→行事の後は全員で話し合い、  
次回に活かす。
- ◆思い切って世代交代を図ってみよう  
→役員を地域で応援する土壌をつくる。

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆子どもから高齢者まで  
安心して暮らせる地域づくり  
→関係機関と連携し、子どもから高齢者ま  
で安心して住み慣れた場所で暮らせる地  
域を目指す。
- ◆未来へのバトンタッチ  
～みんなで知恵を出そう～  
→安全で安心な地域づくりや課題について  
考える。

## 出会い・ふれあい・見守り・支えあい

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆健康で前向きに自分らしく  
生き続けられるように!!  
～地域の皆さんを応援します～  
→“健康寿命の延伸”につなげる。
- ◆あなたの身近に福祉委員がいます  
→福祉委員を紹介し、活動内容をお知らせ  
する。  
→福祉委員が、地域住民の健康づくりのお  
手伝いをします。

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆聞かせて 教えて あなたのおもい  
→アンケートによる調査、訪問しての  
声かけでニーズを探る。
- ◆向こう三軒両隣  
→隣組のつながりを深め、  
“見守り・支えあい”を進める。
- ◆みんなひとりじゃないよ 手をつなごう  
→福祉委員の情報交換の場を設け、  
相談しやすい環境をつくる。
- ◆絆を深めて守ろう 地域の宝!  
→地域での情報の共有・一元化について考える。

### ■課題の整理

- ・住民一人ひとりの困りごとやニーズを把握するためには、福祉委員の役割や活動等の認知度をより高める必要がある。
- ・自治会・町内会ごとの活動は活発であるが、細長い地形特性があるため、広域的なつながりが薄い。

### ■今後の方向性

- ・福祉委員の役割、活動を明確に分かりやすく周知し、認知度を高める。
- ・各地域の情報交換の場を設定し、活動や課題を共有するとともに、連携を図る。

## 阿賀浦地区

### ◆地域の特色

- ♥ 保育所から高校まで揃っている文教の地区。
- ♥ 緑、自然が多く、人が温かい地域である。

- ♥ 古い歴史と新しい町が混在している。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・ 総人口 3,983人（-25人）
- ・ 自治会・町内会数 5
- ・ 65歳以上人口 1,075人（+88人）
- ・ 高齢化率 27.0%（+2.4%）

- ・ 世帯数 1,522世帯（+111世帯）
- ・ 年少人口 521人（-47人）
- ・ 75歳以上人口 619人（+86人）
- ・ 地域の茶の間・いきいきサロン 6か所

※ 高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※ 年少人口：0歳～14歳の数

## 1 明るく元気な地域づくり

### ◆つながりの太い輪をつくらう

～つながりは継続なり～

- 子どもとのつながり、青年部とのつながり、中高年世代とのつながりの強化。
- 子供から高齢者までの全世代が交流できる行事を実施する。
- 若い世代やPTAとの連携を深める。

### ◆若い力を育てよう

- 中学生パワーの活用。
- 若い世代の同好会、グループ活動の推進。

## 2 安全で安心な地域づくり

### ◆子供、高齢者を地域で見守ろう

- “子ども110番の家”の活用。
- “緊急情報キット”の配布、活用。

### ◆安心なまちづくり

- ～災害がいつ起こっても安心な体制づくり～
- コミ協主導の阿賀浦地区合同避難訓練の実施。

## みんなで作ろう－地域の絆－

## 3 健康で豊かな地域づくり

### ◆健康寿命の延伸をめざそう

- 「介護予防体操」等のさらなる普及。

### ◆阿賀浦地区全体が一つの施設だ！

- ～子供から高齢者まで、障がいがあってもなくても、みんなで一緒に暮らしていける地域に～
- まずは、小中高校、医療・介護施設等と連携し、情報共有をする。

## 4 相談しやすい体制づくり

### ◆たよれる地域づくり

- 見守り活動から生活支援につなげる。
- 自治会・町内会役員が自分の地域（分区）の理解を深め、まとめていく。

### ◆顔の見える関係“絆”を築こう

- ～「住んでいてよかった！」と思える地域に～
- 隣組のつながりを深め、心配ごと・困りごとを相談しやすい関係を築く。
- 挨拶（会釈）を大切にする地域に。

### ■課題の整理

- ・ 自治会・町内会ごとの活動は活発であるが、広域的なつながりが薄いいため、単独では解決が難しい課題（災害時や緊急時の対応、日頃の支え合い等）がある。

### ■今後の方向性

- ・ 各地域の実情をふまえ考慮しつつ連携を図り、行事やイベントを合同開催する等、地域や世代間の交流をすすめる。
- ・ コミ協として、明るい話ができるような、明るいこと（新たな取り組み）をすすめていく。

## 新関地区

### ◆地域の特色

- ♥三本の川に囲まれた、緑豊かな地域。
- ♥文化の香り、自然豊かな地域。
- ♥世代を超えてお互いに挨拶のできる地域。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 1,761人（-179人）
- ・自治会・町内会数 9
- ・65歳以上人口 736人（+26人）
- ・高齢化率 41.8%（+5.2%）
- ・世帯数 655世帯（+7世帯）
- ・年少人口 162人（-1人）
- ・75歳以上人口 415人（-60人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 7か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
 ※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較



### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆小さな輪のつながりが大きな輪へ！  
 地域にはたくさんの団体（子供会・老人クラブ・奉仕団体・趣味の会など）があり、多種多様である。  
 →連携を図りながら地域の活性を。  
 →子供から高齢者までの世代間交流ができる行事の実施。
- ◆若者に出番を！主役を！  
 →地域の伝統行事（お祭り・賽ノ神・神事など）を核に、若者の参加を組み込み、次世代の人材育成に。
- ◆地域から期待される“しんせき児童クラブ”に！  
 →地域ぐるみで子どもを見守る環境づくり。  
 →安心して子育てできる環境づくり。

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆防災の基本は地域の和！  
 →「新関防災の日」で防災意識の向上を。  
 →リボンを使った安否確認訓練と避難訓練。  
 →災害に備える家族防災会議の実施。
- ◆大勢の目で地域を見守ろう！  
 →“新関安心安全見守り隊”“青色パトロール”で地域巡視、交通安全、不審者対応の充実。

## 笑顔いば元気がば夢いばい

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆豊かな心！健全な精神と健康な体！  
 →地域の豊かな自然に感謝、祖先が残した伝統文化の継承、郷土愛と隣人愛の醸成。  
 →“しんせき夢マップ”を活用した里山ウォークや健康ウォーキングなどで健康増進。
- ◆健康意識の向上は自分から！  
 →新潟薬科大学健康自立セミナーの活用と積極的参加。  
 →お年寄りが集える場と支援体制の拡充、ボランティアへの参加により自らの健康増進・健康維持を。

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆“お茶の間サロン”に集まろう！  
 →地域のお茶の間サロンの充実と支援。  
 →困りごと・悩みごとを気軽に相談できる場に。  
 →お茶の間サロン交流会の実施。
- ◆“絆”“つながり”を大切に！  
 →今ある“絆”や“つながり”を大切に守りつつ、新たな関係づくりの推進。  
 →地域内の助け合い・支え合いの輪の広がり  
 と充実。  
 →様々な場面に“女性の力”を。

### ■課題の整理

- ・人口減少や高齢化により、地域活動の継続が難しくなっている。
- ・自治会で取り組むもの、コミ協で取り組むもの、連携で取り組むものの整理が必要。
- ・社会の急激な変化や多様化に対し、新しい発想と柔軟な感覚で対応する必要がある。

### ■今後の方向性

- ・行事や活動（今あるもの・新たなもの）を通して、次世代を担う人材の掘り起こしと育成を図る。
- ・今後も「新関に住んでよかった」「新関に来てよかった」と思える地域にする。
- ・「教育村」という伝統を堅持し、園児や小・中・高校生などの健全育成に寄与している新関を今後も継続する。小学校との連携を保ち、「地域と学校のパートナーシップ事業」の継続推進を図る。



## 小合地区

### ◆地域の特色

- ♥花、緑、水、環境を大切にする地域。
- ♥伝統文化を大切にする地域。

- ♥人を大切にし、団結力がある地域。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 3,660人（-254人）
- ・自治会・町内会数 14
- ・65才以上人口 1,411人（+124人）
- ・高齢化率 38.6%（+5.7%）

- ・世帯数 1,246世帯（+38世帯）
- ・年少人口 366人（-18人）
- ・75才以上人口 741人（-2人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 12か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆愛さつ運動を継続しよう  
→安心な地域づくりにもつなげる。
- ◆花壇花苗・球根植え活動等で、花いっぱい「花のふるさと小合」をアピールしよう  
→花苗植栽を広げる。
- ◆「屋号名」呼びでも話が弾み地域の連携を深めよう  
→隣近所関係を密にする。

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆小合地域自主防災訓練を実施しよう
- ◆小学生の登下校時の見守り  
（交通安全・防犯）を実施する
- ◆「公助・共助・自助」を基本にした助け合いのしくみをつくろう

## 住みたい小合 住みつづけたい ふるさと小合

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆各種スポーツ大会等を実施し、隣近所、地域の繋がりをつくろう
- ◆小合コミセンを拠点とした各種サークル活動の継続
- ◆健康づくり教室などには積極的に参加しよう

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆コミ協広報紙「よらねかね小合」を発行し、情報発信
- ◆SNS（会員制交流サイト）を活用した情報発信  
→スマホを活用した地域の情報の受信。
- ◆自治会・町内会とコミ協が地域課題の実現に向けて取り組もう

### ■課題の整理

- ・高齢化により、老人クラブの脱退やサロンの運営継続するための担い手不足が生じ、高齢者が集う場がなくなっている。

### ■今後の方向性

- ・少子高齢化社会の進行に対応した助け合いのしくみを構築していく。
- ・中学生以上対象にした「全住民アンケート」を実施した結果をもとに、住みよい地域づくりを考えていく。（人口減少、移動手段等）

## 金津地区

### ◆地域の特色

- ♥長い歴史と団結力のある地区。
- ♥中学の総合学習に住民が指導者として参加。

- ♥里山公園や植物園などの施設がある。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ・総人口 6,927人（-157人）     | ・世帯数 2,880世帯（+235世帯）   |
| ・自治会・町内会数 11           | ・年少人口 628人（-43人）       |
| ・65才以上人口 2,409人（+379人） | ・75才以上人口 1,143人（+102人） |
| ・高齢化率 34.8%（+6.1%）     | ・地域の茶の間・いきいきサロン 7か所    |

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

## 1 明るく元気な地域づくり

- ◆各行事に参画してもらうための工夫をしよう  
→多世代が参加できる行事を企画し実施する。
- ◆行事を通じてコミュニケーションを図っていこう  
→地域のつながりをつくる。

## 2 安全で安心な地域づくり

- ◆隣同士の間人間関係を構築しよう  
→コミ協及び自治会で防災訓練を実施していく。
- ◆ながら見守りの強化を図っていこう  
→普段の生活のなかの自然な見守り体制の構築。
- ◆子どもの見守り体制の充実を図っていこう  
→オレンジ椅子の活用や子どもとのあいさつの強化を図っていく。

## 我が郷土 さわやかに一声かけ 笑顔で育む共助の思い

## 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆地区社協や各自治会・町内会で実施する地域の茶の間やいきいきサロンの活性化を図ろう  
→高齢者の居場所を増やす。

## 4 相談しやすい体制づくり

- ◆相談しやすい体制づくり  
→身近なところで相談できる体制の構築。
- ◆SNSを使った情報発信をしよう  
→スマホやパソコンを使用した情報環境整備。

### ■課題の整理

- ・防災や子どもの見守りについては、近所づきあいがもっとも大切であるが、なかなか隣近所に関係性を築くのが難しくなっている。

### ■今後の方向性

- ・地域交流が深まり、着実に持続的な「支え合い」活動が動き出すことにより、地域で安心して暮らすことが出来るような事業に取り組んでいく。

## 小須戸地区

### ◆地域の特色

- ♥小さな地域で、みんな顔見知り。
- ♥町屋と歴史と文化遺産。

- ♥花がある、緑がある、人情が厚い。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 5,310人（-305人）
- ・自治会・町内会数 38（-3）
- ・65才以上人口 1,794人（+77人）
- ・高齢化率 33.8%（+3.2%）

- ・世帯数 1,951世帯（+85世帯）
- ・年少人口 581人（-24人）
- ・75才以上人口 953人（+28人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 7か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

#### ◆自治会等を核としてすすめよう

- 継続的な組織の活性化とレベルアップを図る。
- 人材発掘と育成を図る。

### 2 安全で安心な地域づくり

#### ◆子どもの見守りを強化していこう

- 「ながら見守り」の実施。
- 防犯ブザーの配布の継続。
- 地域安全運動の実施。

#### ◆防災については、

積極的な参加を呼び掛けよう

- 自治会ではなく避難所単位で計画を立てる。

## まちセンは 人との絆を深める 支えあいの場

### 3 健康で豊かな地域づくり

#### ◆幅広い年齢層や地元の参加者を

増やす工夫をしていこう

- 経費の負担を少なくして、参加しやすいようにする。

#### ◆健康増進策を推進していこう

### 4 相談しやすい体制づくり

#### ◆時代に合わせた情報発信をしていこう

- コミ協だよりの発行。
- SNSの活用法を検討。

### ■課題の整理

- ・自治会は短期間で役員交代となるので外部へのつながりが難しい。
- ・地域づくりにおけるリーダーが必要。
- ・男性の参加者が増えない。

### ■今後の方向性

- ・自治会等を核とする地域づくりをすすめる。
- ・地域ぐるみで子どもの安全を守る。
- ・幅広い年齢層の事業の参加を促し、住民同士のつながりを広げる。
- ・人材発掘し活用する。
- ・SNSなどの情報発信の多様化を図る。

## 山の手地区

### ◆地域の特色

- ♥新潟市の中で一番里山に近い駅がある。
- ♥自主防災組織の結成率が100%である。

- ♥地域が一つに団結しようとしている。

### ◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 4,159人（-90人）
- ・自治会・町内会数 10（-7）
- ・65歳以上人口 1,276人（+139人）
- ・高齢化率 30.7%（+3.9%）

- ・世帯数 1,554世帯（+114世帯）
- ・年少人口 486人（-48人）
- ・75歳以上人口 666人（+13人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 4か所

※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合  
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較

※年少人口：0歳～14歳の数

### 1 明るく元気な地域づくり

- ◆山の手地区ふれあい夏祭り  
活性化を図っていこう
- ◆交通手段のない人への支援を広げよう

### 2 安全で安心な地域づくり

- ◆自主防災組織の充実を図っていこう
- ◆「助けてもらいたい名簿」の  
作成をすすめよう
- ◆自治会単位で、  
除雪のたすけあい活動を広げよう

## 元気なあいさつ 笑顔あふれる山の手

### 3 健康で豊かな地域づくり

- ◆里山の魅力を活かした事業を  
実施していこう  
→菩提寺山ハイキング、山遊さんハイキ  
ング等。
- ◆伝承事業を公民館と合同で実施してい  
こう  
→ミニ門松作り講習会、花いっぱい運  
動等。

### 4 相談しやすい体制づくり

- ◆山の手はひとつ！あいさつ運動に取  
り組み、  
心と心のつながりを築いていこう

### ■今後の方向性

- ・『山の手はひとつ！』を合言葉に、日頃からの人と人をつなぐ関係を築いていく。
- ・「助けてもらいたい名簿」や、あいさつ運動により「助けて」と言い易い地域づくりをすすめる。
- ・あらゆる世代の人が憩い、学び、楽しめるように里山を利活用したまちづくり活動を生み出していく。